

日本人も外国人も暮らしやすい地域にするには — 入間市と深谷市で意見交換会開催 —

1月14日(火)と21日(火)に、日本人と外国人の意見交換会を行いました。意見交換会には、自治会関係者、行政関係者、日本語教室のボランティアの方などが参加し、同じ地域に住む外国人と、日本人も外国人も暮らしやすい地域にするにはどうすればいいかを話し合いました。

この意見交換会は、同じ地域に住む人同士が知り合い、理解し合うきっかけにもなったようです。まずは交流する機会を持つとうという意見も聞かれました。

ここから地域がつながり、新たな取組みが始まるといいですね。

パネルディスカッションで「困っていること」を出し合う

- ・ビザや仕事や勉強のことなど、たくさん困っている。
- ・国民保険など意味がわからず払っている。
- ・日本語が分からないので市報を見ても情報を得られない。(以上、外国出身者)
- ・ゴミ捨てるのルール違反など外国人のせいと決めつけてしまう。
- ・日本語が話せる子どもが通訳をしているのだが、ちゃんと伝わっているのかわからない。
- ・言葉の壁が大きく信頼関係が生まれにくい。(以上、日本人)

グループディスカッション、全体の話し合いで「今からできること」を話し合う

- ・外国人は、知りたいことがあったら積極的に話しかけてほしい。日本人も一生懸命聞かなくてはいけない。そこから理解が生まれる。
- ・料理や文化紹介から交流が始まればよい。
- ・外国人と日本人と一緒に学ぶことが必要。「教える・教わる」の関係にならないようにする。



情報を伝えることの大切さを訴える、外国出身の参加者

フィリピン台風30号義援金募金への御協力ありがとうございました

埼玉県国際交流協会では、平成25年11月14日(火)～平成25年12月18日(火)まで、フィリピン台風30号被災者への義援金募金箱を県内7か所に設置し、義援金を募集しました。

その結果、総額310万4178円の義援金が寄せられました。

皆様の温かな御支援に感謝いたします。

皆様から寄せられました義援金は、埼玉県ユニセフ協会を通して被災地に送られました。

お礼 と 報告

パスポート・各種証明写真のご用命は当協会へ！

埼玉県国際交流協会では、大宮、川越、熊谷、春日部、川口の各パスポートセンター内に写真室を設置しています。熟練したスタッフが、皆様の大切なお写真を真心こめてお撮りします！

生まれたばかりの私の赤ちゃんのパスポート用写真、〇〇写真館に撮りに行ったら「首が座るまでお撮りできません」といわれちゃったの…これから家族で海外赴任なのにどうしよう!!



大丈夫！
埼玉県国際交流協会の写真室なら、あなたのご要望にお応えします！
万一パスポートセンターで「取り直しが必要」と言われても、無料で取り直します！
もちろん、お写真はプリント前にご確認いただけます！